

2019 年度東海地区協議会研究会第 3 回運営委員会議事録

日 時 2019 年 10 月 1 日 (火) 14 : 05 ~ 17 : 50
場 所 愛知工業大学 本山キャンパス 2 階 多目的室
出 席 加藤・榊岡 (愛知工業大学)、大橋 (人間環境大学)、菅野 (南山大学)
田島 (愛知学院大学)、山田 (愛知淑徳大学)、石田 (金城学院大学)
山際 (皇學館大学)、丸 (椋山女学園大学)、古川 (中部大学)
坪井・石川 (東海学園大学)、澤木 (名古屋女子大学)、杉山 (藤田医科大学)
列席者 花田氏 (EBSCO Information Services Japan 株式会社)

配布資料 1. 2019 年度第 2 回研究会について
2. 2019 年度第 2 回研究会：講演配布予定資料
3. 2019 年度第 1 回研究会事後アンケート集計結果
4. コンテンツ係業務報告 (2019 年 7 月 ~ 2019 年 9 月)
5. 2020 年度研究会について
6. 2020 年度実務担当者研修会について

議事進行は、2019 年度委員長校の愛知工業大学・加藤が担当した。

議事に先立ち、委員長校から、石川委員 (東海学園大学) の 10 月 1 日付他部署異動に伴い坪井委員に交代することになった旨の報告があり、続いて石川委員及び坪井委員から挨拶があった。

なお、委員長校からコンテンツ業務担当は、石川委員から坪井委員に引継いで頂きたいとの提案があり、このことが承認された。

議 題

1. 2019 年度図書館見学会について

委員長校より、本日 (10/1) 講演等のテープ起し原稿が依頼業者から届いたため、講演原稿の確認依頼を川崎課長に行う予定との報告があった。また、事後アンケートの回答期日が 9 月 30 日となっているが、もし運営委員で未回答の方がみえたら、一両日中に回答をお願いしたいとの依頼があった。

引き続き、見学会担当の山田委員 (愛知淑徳大学) から、見学会記録作成について、前回の見学会記録の内容等に倣って作成したいとの発言があった。なお、全体会・質疑応答については、これまでに前例がなく、分量も多いことや、これ以上川崎課長に確認頂くのも負担になることも考慮し、見学会担当者の方である程度取り纏めさせて頂いたものを作成し、提案させて頂きたいとの発言があり、このことが承認された。

2. 2019 年度第 2 回研究会について

主幹事校の大橋委員 (人間環境大学) から、資料 1 に基づき、運営委員会に先立ち開催された研究会担当者会議での協議内容等の説明があった。続いて、研究会担当者会議での提案事項等に基づき、協議の結果、次のことが承認された。

(1) 開催案内、研究会スケジュールについて

- ・本文の「参加申込方法で10月7日(月)までにご回答ください」を「参加申込方法でご回答ください」に修正する。
- ・参加申込期日は10月25日(金)とする。
⇒開催案内、研究会スケジュールの修正案、及び、下記(2)の修正した参加申込フォームを10月4日(金)までに運営委員に確認頂き、10月7日(月)に理事校から開催案内を周知してもらうことを前提に設定
- ・意見交換会の参加申込キャンセル期限を明記する。
⇒キャンセル期限は、会場側に確認を行う。
- ・研究会スケジュール他に記載の講師花田謙一氏の所属社名を修正
⇒EBSCO Information Service Japan 株式会社(株式会社を追記)
- ・研究会スケジュール:「11:40~13:30 昼食休憩(各自でお取りください)」の部分に、「会場内での昼食は可」「会場内に食堂はありません」などの説明を追記する。
- ・研究会講師の紹介:花田氏のプロフィールについて、花田氏に確認する。
- ・研究会講師の紹介:【講演】を【講演歴】等に修正する。

(2) 参加申込フォームについて

- ・設問33(研究会当日、講師に聞いてみたいことがありましたら、その内容をご記入ください)を設問2(研究会にご参加されますか)の後に移動
- ・設問6.12.18.24.30(図書館勤務経験(総)年数をご回答ください)の後に、次の設問を追加する。

[新規設問]

どのテーマに関心がありますか(グループディスカッション時のグループ分けの参考とさせていただきます)

- 電子ジャーナル
- 機関リポジトリ
- 閲覧(利用者対応)
- その他(自由記述)

※選択は1つのみで設定する

(3) グループディスカッション等の進行について

- ・基本的な進行方法については資料のとおりで進める。
- ・グループには、運営委員が必ず1名入ることを前提とする。
- ・グループの司会進行者は、参加者の勤務経験年数等を踏まえて、各グループの運営委員が予め候補者を選出しておく。(運営委員が司会進行を行っても可)
- ・全体討議では、各グループで纏めた質問内容を花田氏に回答頂く。
- ・時間配分については、主幹事校の方で修正の上、再度諮らせて頂く。

(4) 役割分担について

- ・具体的な役割分担については、現段階で細部を詰めることが難しいため、グループ分けが終わった段階で、改めて協議を行う。
- ・当日の集合時間についても、改めて検討する。

(5) 参加事後アンケート（案）について

- ・冒頭に「アンケート結果は『館灯』に掲載させて頂く」旨を追記。
- ・設問7.（ア）～（ク）を削除し、A～G毎に選んだ理由を記入する自由記述欄を設ける。
- ・修正した参加事後アンケート（案）は、後日メールにて確認頂く。

最後に花田氏から、講演内容としては、「基礎編」では主に用語の説明、「発展編」では「基礎編」で説明した用語を用いて、電子ジャーナルに関する最新トピックス（ハゲタカジャーナル、インパクトファクター等）を掘り下げて説明を行う予定で準備を進めているとの説明があった。また、2部構成の講演は初めての試みであることから、ご意見等があればご教示頂きたいとの発言があった。運営委員から意見・提案があり、花田氏より以下の通り回答があった。

- ・用語の説明が口頭だと参加者の理解が追いつかない可能性があるため、別途、用語集を配布資料として追加頂くことは可能か。
⇒（花田氏より）別途配布資料として用意させて頂く
- ・用語集を研究会当日より前にご提供頂くことは可能か（用語集は参加宛にメール添付で送付）
⇒（花田氏より）11月上旬頃に提供できるよう準備させて頂く
- ・ハゲタカジャーナル出現の背景やその理由、見分け方等について、現場の実務担当者にとって役に立つ具体的な説明をお願い頂くことは可能か。
⇒（花田氏より）ハゲタカジャーナルについては特に重要なテーマのため、時間を割いて実務に役立つ内容を説明させて頂きたい。

また委員長校から、他に花田氏にご要望・ご意見等があれば、運営委員会メーリングリスト宛にお知らせ頂きたいとの発言があった。

（頂いたご意見等は随時、委員長校から花田氏へ提供する）

3. 2019年度第1回研究会事後アンケート結果について

事後アンケート取り纏め担当である杉山委員（藤田医科大学）から、資料2-1・2に基づき、先程の研究会担当者会議での協議内容等の説明があった。続いて、研究会担当者会議での提案事項等に基づき、協議の結果、アンケート内容は次のことを留意の上、原則、全文掲載することが承認された。研究会担当者会議で、修正箇所等について再度確認を行った上で原稿案を作成し、その原稿案を運営委員会メーリングリストにて最終確認を行うこととした。

- ・J-STAGEにウェブ公開されることなどを考慮し、個人を特定するなど内容・表現が適切でないと思われるものについては削除する。
⇒設問5のコメント「変更前の先生だったら（以下略）」は削除。
- ・ページ数の軽減のため、重複するコメントについてはできる限り纏める。
- ・誤字、脱字及び一般公開には適さない表現等がないかを精査する。
- ・原稿の最後に、「アンケート協力のお礼及びアンケート結果については今後の研究会活動の参考にさせて頂く」旨の一文を追記する。

4. 東海地区協議会ウェブサイトについて

コンテンツ係担当の澤木委員（名古屋女子大学）より、資料3に基づき、東海地区協議会ウェブサイト関連業務について報告があった。

5. 2020年度研究会事業計画について

2020年度研究会については、次年度主幹事校の杉山委員（藤田医科大学）、実務担当者研修会については、委員長校から資料に基づき説明があり、協議の結果、次のとおり諸準備を進めることになった。

(1) 研究会について

- ・テーマは提案1「図書館管理・運営」とする。
- ・開催日は2020年11月6日を予定。
- ・提案1では、参加対象を「管理職・後輩指導に立つ方」としているが、大学図書館の現状（専任職員の減少、業務委託化等）を踏まえ、参加対象を幅広くできるように、管理職と非管理職と双方の立場の視点に立った具体的な内容を主幹事校から再提案頂く。
- ・2020年度の研究会開催回数については、主幹事校から業務上の都合により年2回の開催は難しいとの意向が出されたが、例えば主幹事校主導ではない講演会・情報交換会の実施など、柔軟に検討してはどうかといった意見が複数あり、継続して検討することになった。

(2) 実務担当者研修会について

- ・他の協会行事等を配慮し、開催日程は9月第1・2週を候補とする。
- ・会場を提供頂ける大学があれば申し出て頂く。但し、愛知工業大学自由ヶ丘キャンパスでの開催は可能。
- ・テーマについて、仮テーマ「図書館蔵書（コレクション）の構築/活用」について資料を基に簡単な説明があった。次回運営委員会までに、改めて運営委員から意見集約を行い、主テーマやグループテーマ・数等について具体的な検討を進める。

6. その他

委員長校から、第1回研究会の参加者への事後フォロー（グループディスカッション時の質問事項に対する回答）について、『館灯』掲載前に質問事項の回答を、参加者宛に提示する必要があることから、具体的な回答時期・方法等について、委員長校と副幹事校の菅野委員（南山大学）と事前に協議を行い、後日、メール等でご意見を伺わせて頂きたいとの発言があった。

次回の運営委員会の開催日は、12月2日(月)～12月13日(金)の間で日程調整を行うことを確認した。

以 上